

今週（4/30 ～ 5/10）の臨時休校期間中の学習について

学習内容	学習の進め方	苦手意識のある生徒の学習ポイント	再開後確認テストの行い方（△） 定着のフォロー課題・補習等（▲）
<ul style="list-style-type: none"> ・教科書 虹の足(P14~16) タオル(P18~33) ・ワーク タオル(P15~) ・漢字プリント NO1 ~ NO3 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書（虹の足）を読み、P16の表現技法や資料集を参考にし、詩を1作品以上創作しましょう。その際には教科書P16の下段【詩を作ってみよう】を用いること。比喩以外の表現技法にもチャレンジしてみましょう。 *別紙参照 ・【タオル】ワーク(P15~)を解き採点まで行う。 ・漢字プリントは引き続きが学習してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の詩の創作では【自由詩】と呼ばれる種類で創作します。自由詩とは、形にとらわれない自由な形式の詩です。一年生のときに学習した【ふしぎ】や資料集を参考にするとともに、作文の授業などで行った【*マッピング】を使用しながら創作しましょう。 ・ワークを解く際にはノートに1回解いた後にワークに書き込む方法をおすすめします。 ・漢字学習については、毎日コツコツと行うようにしましょう。日が経つとどうしても忘れてしまいます。 	<ul style="list-style-type: none"> △ 授業が再開した1回目の授業でノートを点検します。詩の評価につきましては、表現技法を正しく使えているかを重点に評価します。しっかりと資料集や教科書を読みましょう。 △ ワークもノートと同じく点検を行います。しっかりと採点まで行い、繰り返し解きなおしましょう。再開時には確認単元テストを行う予定です。*詳しい日程は未定。授業再開後に日程は告知します。 ▲ 漢字プリント NO1 ~ NO3 の漢字テストを2回目以降の授業で行います。7割を満たない場合は補修課題を行います。 *前回の課題の確認としまして、別紙に漢字小テストを掲載しますので解き、しっかりと定着しているか確認しましょう。

詩の創作 表現技法

1、題名を決めよう。

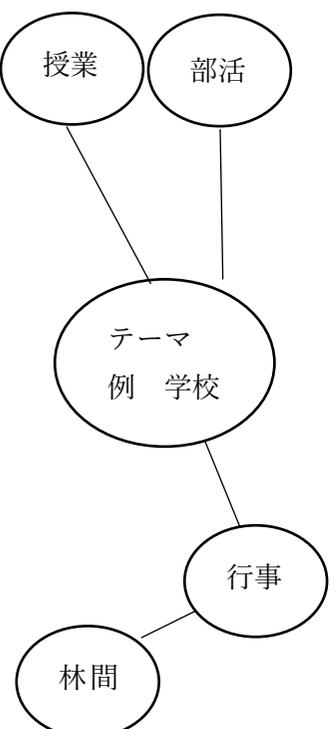
①題名は作文でも同じことだが、読み手を引き寄せる。題名に比喻を使ってみよう。

【擬人法がおすすりめ。*人ではないものを人に例える。自然やものを擬人法で表現してみよう】

例 スマホが溺れた！ ↓ 水没した

空が泣いた。 ↓ 雨が降ってきた

2、題名が決まったら、マップピングで連想や想像をひろげよう。



3、行を変える、連の構成、表現技法を考えて工夫して創作してみましよう。

漢字確認テスト

- 次の _____ の(1)～(3)は読みを(4)～(8)は漢字に直しなさい
- (1) 健康の元、酢酸。
 - (2) 契約を締結した。
 - (3) 莊嚴な雰囲気|に|圧倒された。
 - (4) ホウケンテキ|な|考えはやめよう。
 - (5) カンゲン|に|乗せられてはいけない。
 - (6) イツセキ|の|船。
 - (7) 給食のコンダテ。
 - (8) 彼の後ろ姿はアイシユウ|が|漂っている。